



横須賀共済病院ニュースレター vol. 5

第1回ベトナムとの交流研修が終了しました！



BACH MAI 病院

私は手術室での研修でしたが、リネンがディスポでは無かったりと医材物資の少なさを実感しました。また針などの鋭利物を管理する医材がなく、針が剥き出しのまま保管されており、針刺しをするリスクが高いと感じました。そのため感染や安全面を中心とした学習会を行いました。写真は実際に鋭利物による感染のリスクを考慮し、安全な器械出しを行うために器械台を整理しているところです。

7月3日から7月31日までベトナムの首都ハノイにある BACH MAI 病院へ交流研修に行かせていただきました中央手術室の大滝麻実です。

BACH MAI 病院は病床数 2000 床でハノイの中でも大きな病院で、一日の外来患者数が 5000 人と多く、入院患者は 1 ベッドを 2 名で使用していたり、廊下には多くの患者の家族が付き添いのためゴザを敷き食事をしたり、睡眠をとったりと日本では見慣れない光景に初めは驚きました。



病院の至る所で見られる光景



安全面を考慮した器械台の整理風景

手術は、一日約 60 件から 80 件が行われます。ベッド数は緊急手術室のベッドも含めて 11 台あり、当院のように一人の患者に対し 2 人の看護師が必ずしも配置できる環境にない現状です。そのため医療者は、当直も仮眠時間も無く働き、翌日も通して働くこともあるようです。そんな激務の中でも職員は明るく談話したり、慣れない私に話しかけてくれ、常に笑顔で気遣いをしていただきました。

家族のような優しさで温かさで、とても居心地が良く、安心して過ごすことができました。BACH MAI 病院の職員の皆様に感謝です。

病院では年に一回旅行があり、その旅行に招待していただきました。職員の家族も参加していて家族同士でも仲が良く「親戚の旅行に来た！」と勘違いしてしまう程でした。

今回の交流研修の目的は“お互いの医療を知る・今後のプロジェクトの架け橋となれるよう、良い関係を築く”でした。皆様のご指導のおかげで達成できたのではないかと感じています。

最後になりましたが、長堀病院長はじめ野口看護部長、田中脳神経外科部長、このような貴重な体験の機会を頂きありがとうございました。そして事前の資料作りや勤務調整等、協力を頂きました手術室師長はじめ主任、手術室スタッフ皆様に深く感謝します。この人事交流が今後も継続されることを願い、ベトナム交流研修の報を終了させていただきます。



病院旅行(cat ba island)